

「鳴門教育大学専門職大学院」

GPシンポジウム

主催 鳴門教育大学
後援 徳島県教育委員会、徳島市教育委員会、鳴門市教育委員会、NHK徳島放送局、徳島新聞社、四国放送(株)



趣旨

今日、教員の資質が社会的に問われている。また、全国の教員養成系の学部・大学は、教職大学院の開設をきっかけに、学部レベルとは質を異にする大学院教育のあり方を模索し始めた。

鳴門教育大学の場合、教職大学院の定員50名に対して既設大学院の定員250名と、依然として後者が多数を占める現実がある。すなわち、既設大学院の活性化なくして、大学院教育の充実は図れない状況に置かれている。両組織は、「学校教育研究科」という同い傘のもと「教育の専門職」養成の責任を果たすとともに、それぞれが独自の機能を発揮していかなくてはならない。

本シンポジウムでは、①本学がこれまで展開してきた必修科目「教育実践研究」の成果を振り返るとともに、②来年度より同科目の発展バージョンとして立ち上げる大学院版「コアカリキュラム」の可能性を検討する。あわせて③大学院レベルでは、とくにどのような力量に焦点化して「教育の専門職」を養成すればいいのか、それはどのようなカリキュラムと授業で実現できるかについて、議論を深めたい。

日時

平成20年3月15日(土)
13:00～17:30

会場

阿波観光ホテル
3階(ロイヤルパレス)
〒770-0833 徳島市一番町3-16-3

テーマ

教育の専門職に求められる力量をどのように育てるか
—既設大学院と教職大学院の活性化にむけて—

参加対象 大学関係者、教育関係者、学生及び一般市民

参加費 無 料

プログラム

【総合司会】
鳴門教育大学自然系(数学)教育講座
教授 松岡 隆

12:30～13:00
13:00

受付
開会
・主催者代表挨拶
鳴門教育大学長 高橋 啓

13:10～14:00

第1部 本学の取組紹介
①『鳴門教育大学大学院コアカリキュラム構想』
報告者 鳴門教育大学 社会系教育講座 准教授 草原 和博
②『試行プログラムの事例報告』

14:00～15:20

基調講演
『教育の専門職に求められる力量をどのように育てるか』
講師 十文字学園女子大学特任教授 宮城教育大学名誉教授
(中教審教員養成部会委員) 横須賀 薫

15:20～15:30

休憩

15:30～17:10

パネルディスカッション
司会 鳴門教育大学 学長補佐 教授 山下 一夫
パネリスト 兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 渡邊 満夫
上越教育大学 大学院学校教育研究科 教授 増井 三夫
九州大学 大学院人間環境学研究院 教授 八尾坂 修信
鳴門教育大学 学長補佐 教授 西園 芳信

17:10～17:25

フロアとの質疑応答

17:25～17:30

閉会
・主催者代表挨拶 鳴門教育大学 理事 田中 雄三

会場アクセスマップ



交通アクセス

| | |
|------|---|
| JR | 高松から…………… 特急／59分 岡山から…………… 特急／1時間53分 阿波池田から…………… 特急／1時間6分 牟岐から…………… 特急／1時間7分 |
| 飛行機 | 東京から…………… 1時間15分 |
| 車 | 高松から…………… 1時間50分 (R11) 徳島空港から…………… 約25分 徳島I.Cから…………… 約15分 鳴門I.Cから…………… 約30分 明石から…………… 約1時間20分 |
| 高速バス | 大阪から…………… 2時間35分 三ノ宮から…………… 1時間55分 |

参加申込書

「鳴門教育大学専門職大学院GPシンポジウム」

| | |
|-------|--|
| 氏名 | |
| 住所 | |
| 勤務先等名 | |
| 電話番号 | |

FAX : **088-687-6107** までご送信下さい。

◎平成20年3月7日(金)
までにお申込み下さい。

お問い合わせ

鳴門教育大学 教務部教務課教育企画チーム

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地

TEL : **088-687-6092, 6099** E-mail : kk.kyouikukikaku@jim.naruto-u.ac.jp

※お申込みいただきました個人情報は、本シンポジウム運営以外の目的で使用いたしません。